



## 概要

栗山町は、過疎化や少子高齢化の進展により公共交通利用者は減少傾向にあり、民間路線バス撤退後に導入した町営バスの経営も悪化し、抜本的な改善が必要となっていることから、町営バス路線・ダイヤの見直し、スクールバスとの協調、デマンドバス・コミュニティバスの導入やバスによる農産物等の少量荷物輸送等により、地域住民の交通に対する利便性の向上と地域社会の活性化に寄与できる交通システムの構築を図る。

### 町営バス路線・ダイヤの見直し(21年10月～)

バス事業の運営効率化により地域住民の交通を維持するため、21年10月のダイヤ改正に合わせて、町営バス6路線すべての路線とダイヤを全面的に見直し、実証実験を行う。

### スクールバスとの協調(21年10月～)

地域住民の交通確保のため、スクールバス運行区間においては、スクールバス利用児童生徒数に留意の上、21年10月の路線バスダイヤ改正に合わせて、一般客混乗の実証実験を行う。

### デマンドバス・コミュニティバスの導入(21年10月～)

地域住民、特にシルバー層等の交通弱者の利便性向上のため、21年10月の路線バスダイヤ改正に合わせて、郊外地である町南部地域において、デマンドバスの実証実験を行う。  
市街地におけるバス利用の利便性をより高めるため、21年10月のダイヤ改正に合わせて、病院や商店街等にバス停を設置し、コミュニティバスの実証実験を行う。

### 少量荷物輸送(22年度～)

町の基幹産業である農業は従事者の高齢化が進み、農産物の出荷に負担がかかっていることから、出荷の支援等を目的に農協や商店街等の協力を得ながらバスによる輸送を行う。



## 栗山町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

### 主な事業内容

協議会開催状況

2回開催

分科会等開催状況

6回開催

回数は、平成21年度末までの開催予定

#### デマンドバスの実証運行

栗山町南部地区において既存路線方式の2路線をデマンド方式で実証運行を実施

#### コミュニティバスの実証運行

市街地において、病院や商店街等にバス停を設置したコミュニティバスの実証運行を実施

#### 設備の充実

バス停留所の整備

#### 公共交通の利用促進策の実施

- カードシステムによる運賃前払い制度の導入
- まちの駅「栗夢プラザ」及び南部公民館の既存施設をバス待合所として指定し、利用者の利便性や公共交通への地域の関わりを検証
- 調査・研究等
- デマンドバス・コミュニティバス実証運行の調査の実施
- カードシステム導入による利用促進調査を実施

### 実施状況

#### デマンドバスの実証運行

- 平成21年11月2日から平成22年3月25日まで運行
- デマンド運行区間は「滝下～継立」「日出～継立」の2路線
- デマンドバスとの接続便の実証運行を実施(運行区間:継立～栗山駅)

#### コミュニティバスの実証運行

コミュニティバスの実証運行については22年度以降に実施予定

#### 設備の充実

バス停整備については、2月より実施予定

#### 公共交通の利用促進策の実施

- カードシステムによる運賃前払い制度の導入は調査中
- バス待合所機能導入等の検証は調査中
- 調査・研究等
- デマンドバス実証運行の調査の実施中
- カードシステム導入による利用促進調査を実施中

### 自己評価のポイント

- デマンドバス実証運行では、地域町内会事務局が予約センターを担い、バス待合所機能導入事業では、商店街が協力するなど、住民等の参加協力が推進されたことから、適切な事業と評価する。
- デマンドバス実証運行については、予約システムや乗り継ぎ問題など新たな課題もあり、見直しの必要がある。

### 二次評価のポイント

自己評価のとおり、デマンドバス実証運行については、新たなシステムに対する課題を克服し、利用者利便を向上させ、自立性・持続性を持った事業となるよう期待する。